



傍正中切開による帝王切開術

富岡晃輝¹⁾、土屋萌¹⁾、加藤圭介¹⁾、山本哲也¹⁾

原知也¹⁾、足立全¹⁾、岸本昌也¹⁾、加藤大介¹⁾、佐藤礼一郎²⁾

¹⁾(株)益田大動物診療所、²⁾麻布大学産業動物内科学研究室

はじめに①

帝王切開術における切開部位

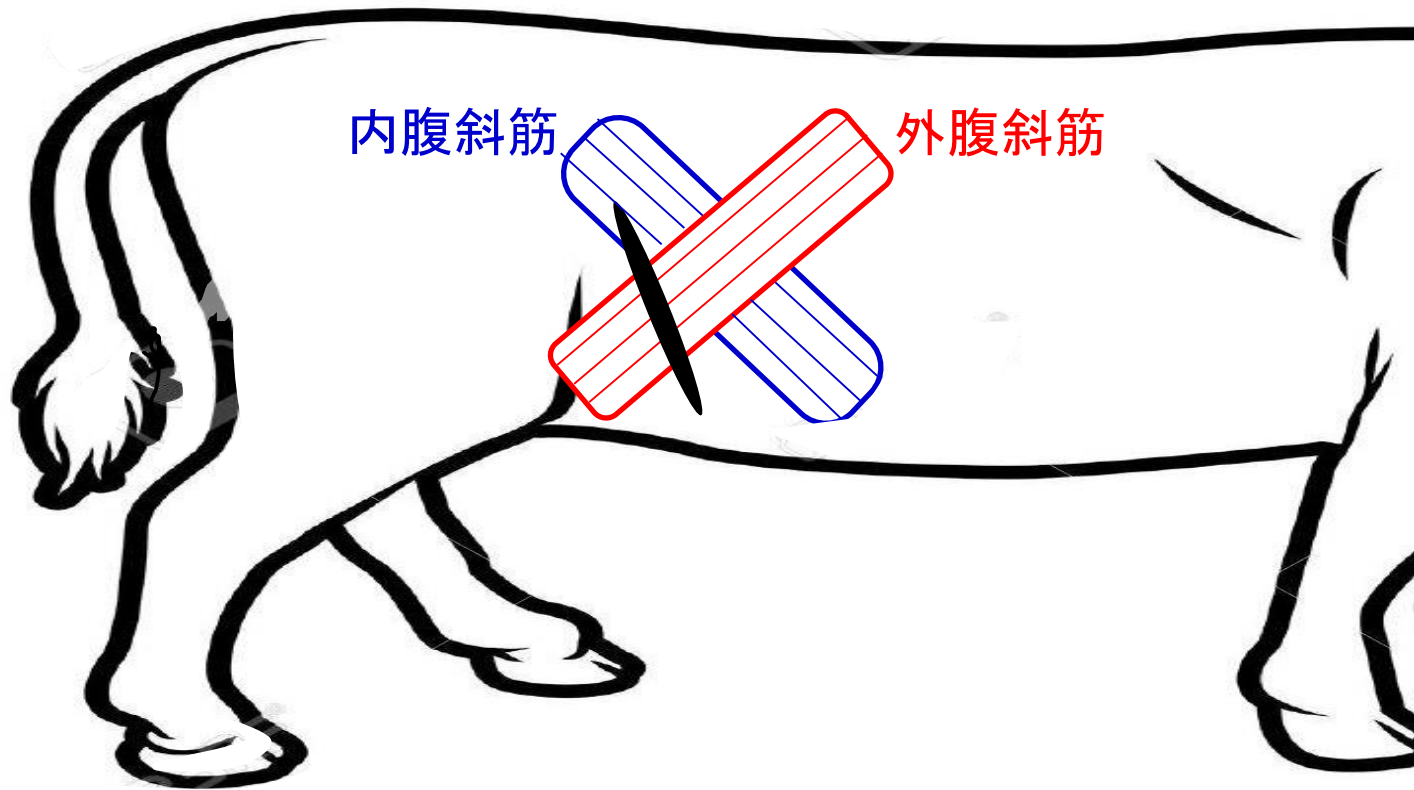
- ・傍正中切開
- ・左右臍部切開
- ・下臍部切開

当診療では、横臥位下臍部切開



はじめに②

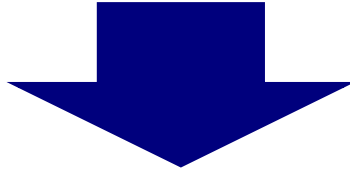
- 下臍部切開は、妊娠子宮角へのアプローチは容易であるが、腹壁の構造上、内腹斜筋および外腹斜筋が交差かつ筋層が厚いため、縫合に時間を要する。



はじめに③

横臥位下臍部切開の問題点

- ・腹膜および筋層の縫合に時間を要し、母体への負担が大きい。



手術時間の短縮による母体への負担軽減を目的に、仰臥位傍正中切開を実施



供試牛

- ・ホルスタイン種、IVF(体外受精卵)妊娠牛 3例

	産次	分娩予定日	胎位	胎児体重
No.1	初産	+7	正常位	55kg
No.2	初産	+11	正常位	65kg
No.3	初産	−2	正常位	60kg

術式



左側仰臥位に保定後、剃毛と消毒

(株)益田大動物診療所



術式



臍部から右側に10cm、乳頭付着部まで約40cm

(株)益田大動物診療所



術式

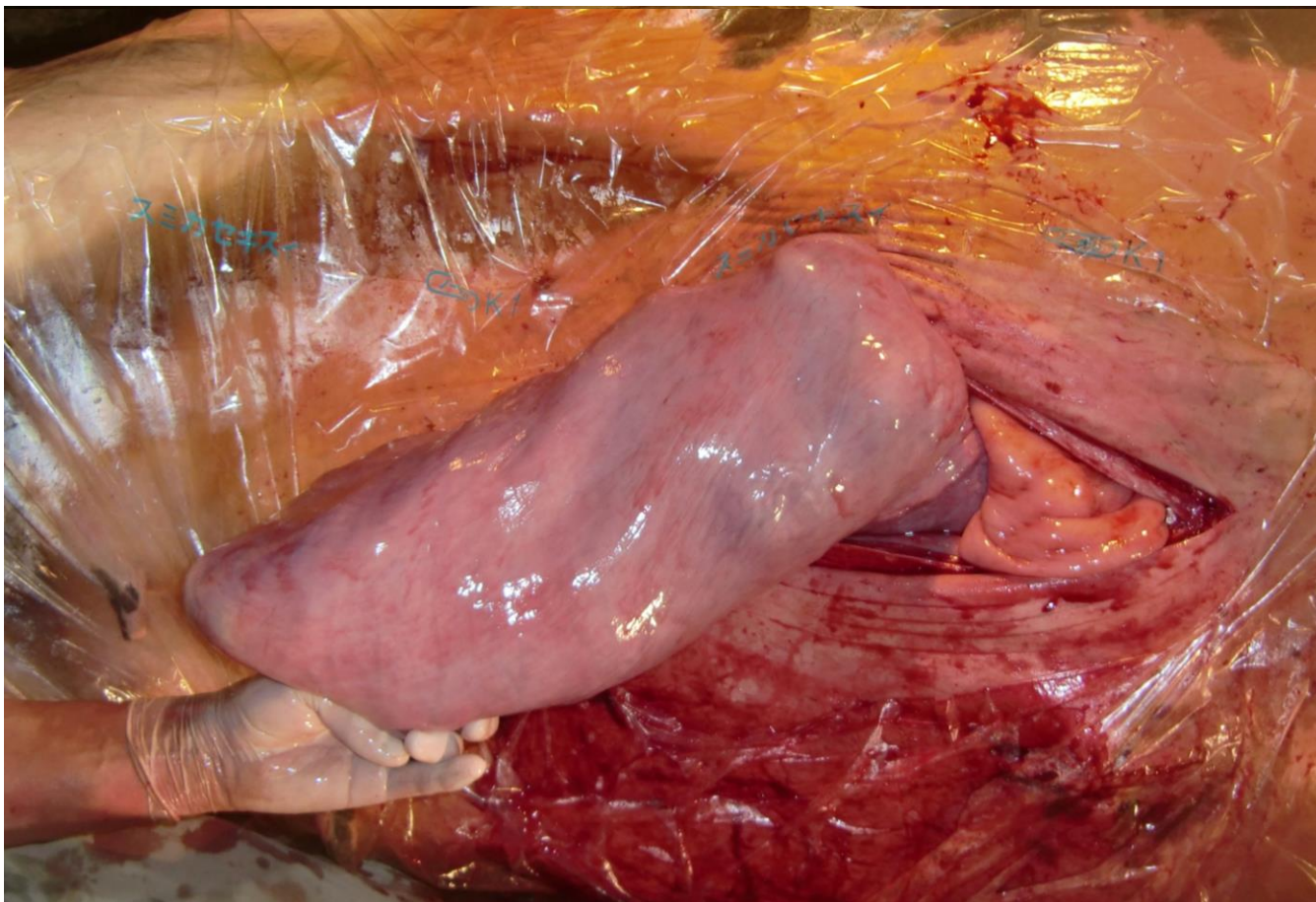


大網をめくると、妊娠子宮角を確認

(株)益田大動物診療所



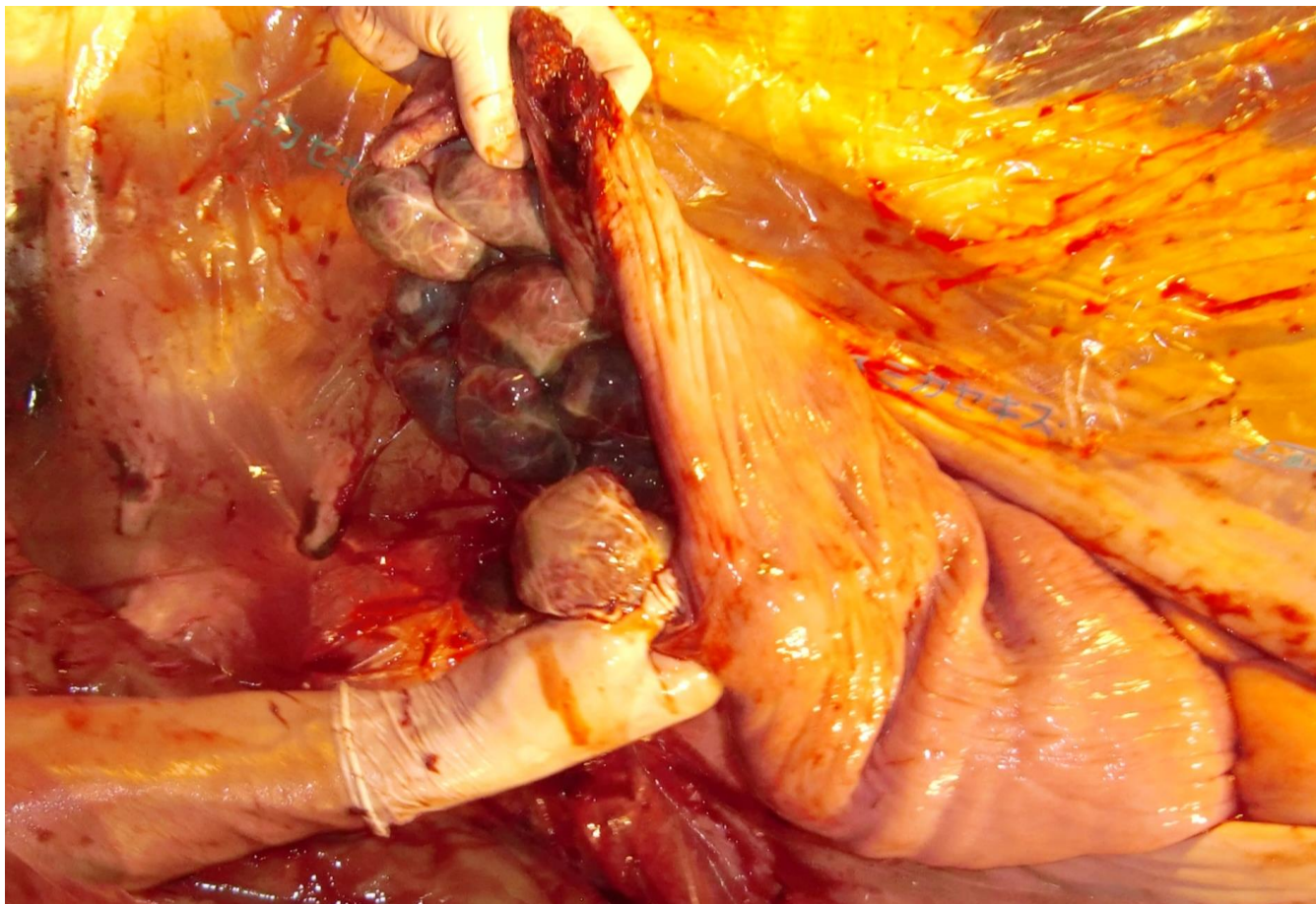
術式



妊娠子宮角を創外に牽引



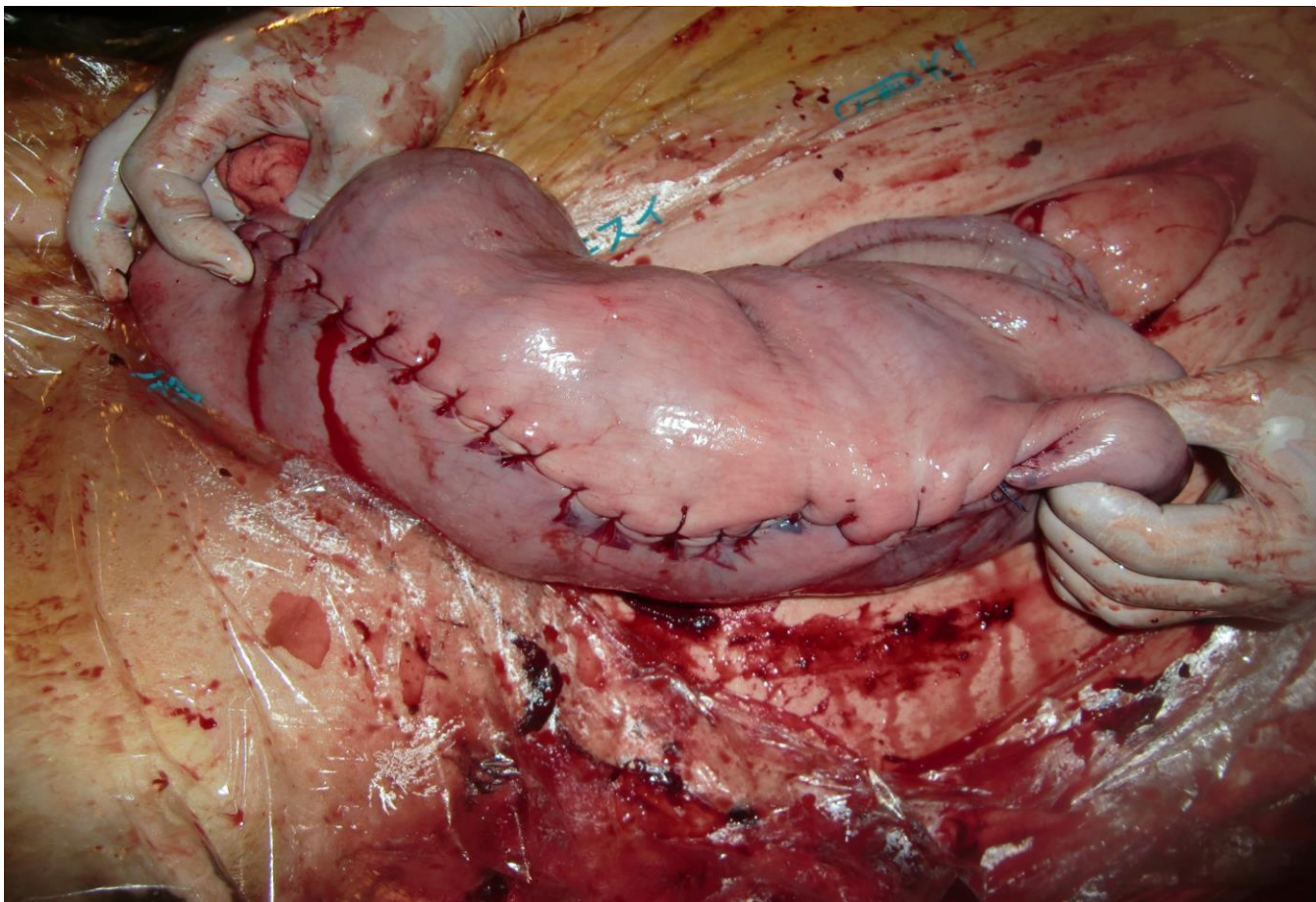
術式



胎子を娩出



術式



連続レンベルト縫合による二層縫合

(株)益田大動物診療所



術式



腹膜、筋層を全層縫合後、皮下組織および皮膚をそれぞれ縫合閉鎖した

(株)益田大動物診療所



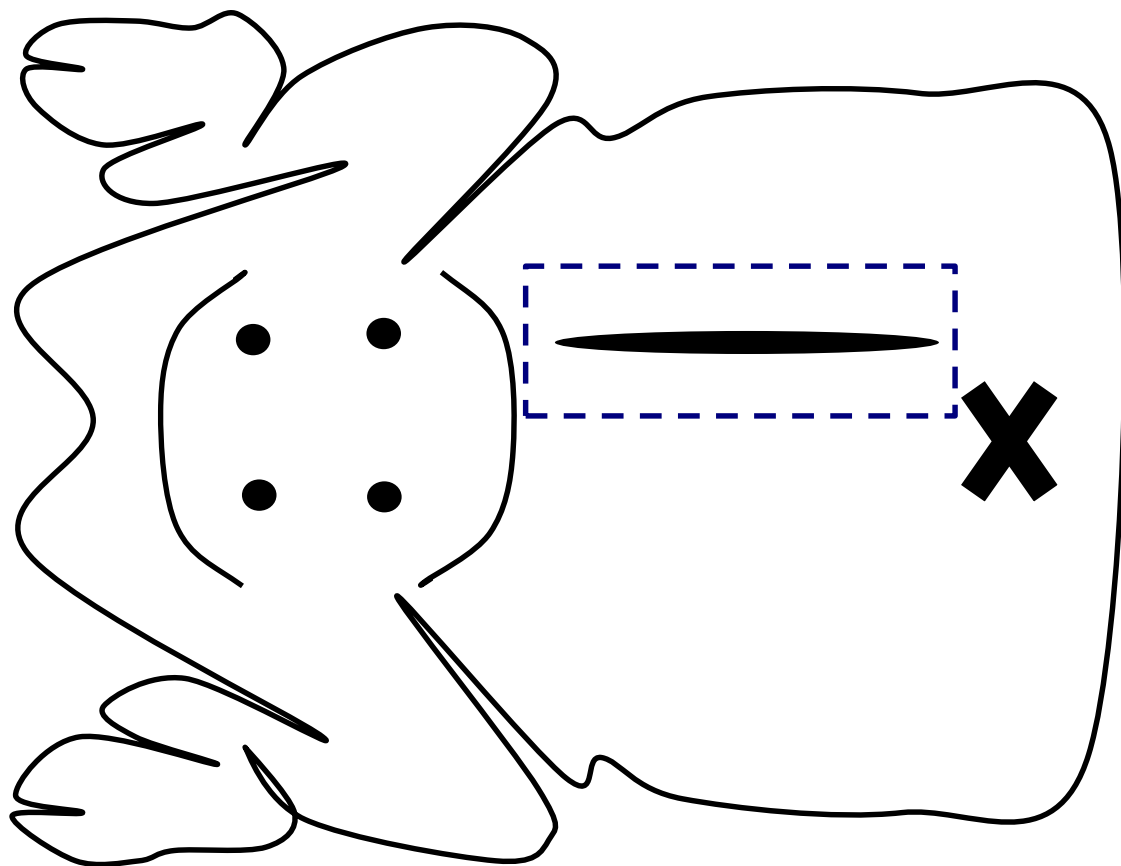
結果

- 妊娠子宮角へのアプローチ
 - 創外への子宮角の誘導
 - 腹膜および筋層の縫合
- 容易

手術時間の短縮

まとめ①

- ・仰臥位傍正中切開は、各筋層の重なりが密で縫合が容易



切開部位の横断図



まとめ②

- ・腹膜、内直筋鞘、腹直筋、外直筋鞘の全層縫合が可能であった。
 - ・傍正中切開部位は、妊角へのアプローチが容易である。
- ➡ 手術時間の短縮がみられ、母体への負担が軽減
- ・経産牛への適応や胎子失位への応用を検討している。